

2026年度 新潟青陵大学 看護学部 看護学科 総合型選抜 試験問題 「授業のまとめ」

試験方法について

- 1 『高齢者のフレイル～予防と改善～について考えよう』に関する授業を受けます。
<50分>
 - 2 理解したこと・考えたことをレポート「授業のまとめ」に記述します。<50分>
- ・ 授業中は「授業資料」や「ワークシート」にメモをとることができます。
 - ・ 「授業資料」や「ワークシート」は、「授業のまとめ」を書く時に使うことができます。

※ 「授業資料」は公開していません。

※ 「授業のまとめ」問題5の解答例は掲載していません。

2026 年度
新潟青陵大学 看護学部 看護学科
『総合型選抜』

ワークシート

使い方について

- 1 授業が始まるまでは、この用紙を開いてはいけません。
- 2 ワークシートは、授業中または「授業のまとめ」を書く時に、自由に使うことができます。
- 3 ワークシートは、試験終了後、持ち帰ってください。
- 4 受験番号・氏名を記入してください。

受験番号	氏名

高齢者のフレイル～予防と改善～について考えよう

1. 高齢者が抱える健康問題について思い浮かんだことを書きましょう。

2. 事例(田中幸三さん)

【ワーク1】田中さんの1日の生活で、フレイルと思われる部分に線を引きましょう。

3年前に妻を亡くして以来、一人暮らしをしています。息子夫婦は車で2時間ほど離れた町に住んでおり、あまり会えません。

高血圧と糖尿病の持病があります。最近は足腰が弱り、階段の上り下りがつらくなってきました。また、口の渇きや噛みにくさのため食欲が落ち、食事量が減って体重も減少しています。

最近は外出が減り、一日中、家の中でテレビを見て過ごすことが多くなりました。友人と会う機会や地域の集まりにも参加しなくなり、「自分の役割はない」と感じています。気力や意欲も低下し、気分が晴れない日が増えました。さらに、物忘れも増え、本人は「頭がぼんやりする」と話しています。

【ワーク 2】ワーク 1 で線を引いた内容を 3 つのフレイルに分類しましょう。

身体的フレイル	精神的フレイル	社会的フレイル

3. 授業で分かったことや考えたことを書きましょう。

【メモ欄】

2026 年度
新潟青陵大学 看護学部 看護学科
『総合型選抜』

授業のまとめ

試験の受け方について

- 1 試験開始の合図があるまでは、この用紙を開いてはいけません。
- 2 解答記入欄は、3 ページです。
解答は、すべて解答欄に記入してください。
- 3 受験番号・氏名を必ず記入してください。
- 4 下書き用紙は、1 枚です。
下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。
- 5 試験時間は、50 分です。
- 6 試験終了時に、この「授業のまとめ」を提出してください。
- 7 不正な行為があった場合は、解答はすべて無効となります。

受験番号	氏名

問題1 以下の説明で正しいものには○、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) 後期高齢者とは、65歳以上75歳以下の人である。
- (2) 平均寿命とは、0歳で生まれた人が平均的に何歳まで生きるかを表す指標である。
- (3) 日本では、男性より女性の方が医療・介護を必要とする期間が長い。
- (4) 健康寿命が短いことの社会への影響として、医療・介護費用の減少がある。
- (5) フレイルとは、健康な状態から要介護状態へと移行する中間的な状態である。
- (6) 日本版フレイルの診断基準で、2項目以上に該当するとフレイルとされている。
- (7) ロコモティブシンドロームは、運動器に障害が起こり、自力歩行に支障がある状態をいう。
- (8) 高齢者の一人暮らしは、女性よりも男性が多い。
- (9) 起床後、太陽の光を浴びることは、脳や体を活動モードに切り替える効果がある。
- (10) 高齢者は家庭や地域での役割が増える傾向にある。

問題番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
解答欄										

問題2 の中に入る適切な語句や数字を解答欄に記入しなさい。

- (1) 日本では、65歳以上の人口が総人口の %を超えると「高齢社会」と呼ばれる。
- (2) 2025年の高齢者の認知症患者数は、およそ 人に1人とされている。
- (3) 虚弱、老衰、脆弱を表す英語は である。
- (4) フレイルの特徴として、健康な状態に戻れるという 性がある。
- (5) 日本版フレイルの評価基準の1つに、体重減少は意図なく半年で kg以上減少とされている。
- (6) は、加齢や疾患に伴い筋肉量が減少し、筋力低下が起こることである。
- (7) 咀嚼力の低下は、 的フレイルに分類される。
- (8) 外出の減少や役割の減少は、 的フレイルを起こしやすい。
- (9) 的フレイルの予防・改善には、孤独感予防や認知機能の刺激などがある。
- (10) 1つの側面が崩れると他の側面にも悪影響をもたらし、フレイルが進行することをフレイル という。

問題番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
解答欄					
問題番号	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
解答欄					

問題 3 以下の文章を読み、(1) (2) を答えなさい。

A 町の人口は次の通りである。総人口：20,000 人、65 歳以上の人口：4,800 人、15 歳未満の人口：3,000 人、15～64 歳の人口：12,200 人。ただし、この町には外国人居住者が 200 人いて、そのうち高齢者は 80 人である。

- (1) 外国人を含めた場合の高齢化率を計算し、
整数で答えなさい。解答は単位をつけること。

問題番号	解答欄
(1)	
(2)	

- (2) 外国人を含めない場合の高齢化率を計算し、
少数第 2 位を四捨五入して少数第 1 位まで求めなさい。
解答は単位をつけること。

問題 4 以下の文章を読み、(1) (2) を答えなさい。

事例の田中幸三さん（78 歳）は、医師からフレイル予防のため、1 日に 6000 歩の歩行を推奨された。田中さんの歩幅は平均 0.7m である。

- (1) 田中さんは、本日 3.5 km 歩行した。何歩歩行したか求めなさい。

- (2) 田中さんは、推奨されている 6,000 歩に達するためには、
あと何 km 歩けばよいか求めなさい。

問題番号	解答欄
(1)	
(2)	

2026 年度
新潟青陵大学 看護学部 看護学科
『総合型選抜』

【解答】 授業のまとめ

授業のテーマは、「高齢者のフレイル ～予防と改善～」です。
授業のまとめは、授業で学んだことや、それらを通して考えたことを問う問題です。

※「問題5」の解答例は掲載していませんのでご了承ください。

問題1 以下の説明で正しいものには○、間違っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) 後期高齢者とは、65歳以上75歳以下の人である。
- (2) 平均寿命とは、0歳で生まれた人が平均的に何歳まで生きるかを表す指標である。
- (3) 日本では、男性より女性の方が医療・介護を必要とする期間が長い。
- (4) 健康寿命が短いことの社会への影響として、医療・介護費用の減少がある。
- (5) フレイルとは、健康な状態から要介護状態へと移行する中間的な状態である。
- (6) 日本版フレイルの診断基準で、2項目以上に該当するとフレイルとされている。
- (7) ロコモティブシンドロームは、運動器に障害が起り、自力歩行に支障がある状態をいう。
- (8) 高齢者の一人暮らしは、女性よりも男性が多い。
- (9) 起床後、太陽の光を浴びることは、脳や体を活動モードに切り替える効果がある。
- (10) 高齢者は家庭や地域での役割が増える傾向にある。

(各3点×10問=30点)

問題番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
解答欄	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×

問題2 の中に入る適切な語句や数字を解答欄に記入しなさい。

- (1) 日本では、65歳以上の人口が総人口の %を超えると「高齢社会」と呼ばれる。
- (2) 2025年の高齢者の認知症患者数は、およそ 人に1人とされている。
- (3) 虚弱、老衰、脆弱を表す英語は である。
- (4) フレイルの特徴として、健康な状態に戻れるという 性がある。
- (5) 日本版フレイルの評価基準の1つに、体重減少は意図なく半年で kg以上減少とされている。
- (6) は、加齢や疾患に伴い筋肉量が減少し、筋力低下が起こることである。
- (7) 咀嚼力の低下は、 的フレイルに分類される。
- (8) 外出の減少や役割の減少は、 的フレイルを起こしやすい。
- (9) 的フレイルの予防・改善には、孤独感予防や認知機能の刺激などがある。
- (10) 1つの側面が崩れると他の側面にも悪影響をもたらし、フレイルが進行することをフレイル という。

(各5点×10問=50点)

問題番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
解答欄	14	5	Frailty	可逆	2
問題番号	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
解答欄	サルコペニア	身体	社会	精神	ドミノ

問題 3 以下の文章を読み、(1) (2) を答えなさい。

A 町の人口は次の通りである。総人口 : 20,000 人、65 歳以上の人口 : 4,800 人、15 歳未満の人口 : 3,000 人、15~64 歳の人口 : 12,200 人。ただし、この町には外国人居住者が 200 人いて、そのうち高齢者は 80 人である。 (各 10 点×2 問=20 点)

- (1) 外国人を含めた場合の高齢化率を計算し、
整数で答えなさい。解答は単位をつけること。

問題番号	解答欄
(1)	24%
(2)	23.8%

- (2) 外国人を含めない場合の高齢化率を計算し、
少数第 2 位を四捨五入して少数第 1 位まで求めなさい。
解答は単位をつけること。

問題 4 以下の文章を読み、(1) (2) を答えなさい。

事例の田中幸三さん (78 歳) は、医師からフレイル予防のため、1 日に 6000 歩の歩行を推奨された。田中さんの歩幅は平均 0.7m である。 (各 5 点×2 問=10 点)

- (1) 田中さんは、本日 3.5 km 歩行した。何歩歩行したか求めなさい。

問題番号	解答欄
(1)	5000 歩
(2)	0.7 km

- (2) 田中さんは、推奨されている 6,000 歩に達するためには、
あと何 km 歩けばよいか求めなさい。

